



浮遊ステップユニット

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

**警告**

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

**注意**

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

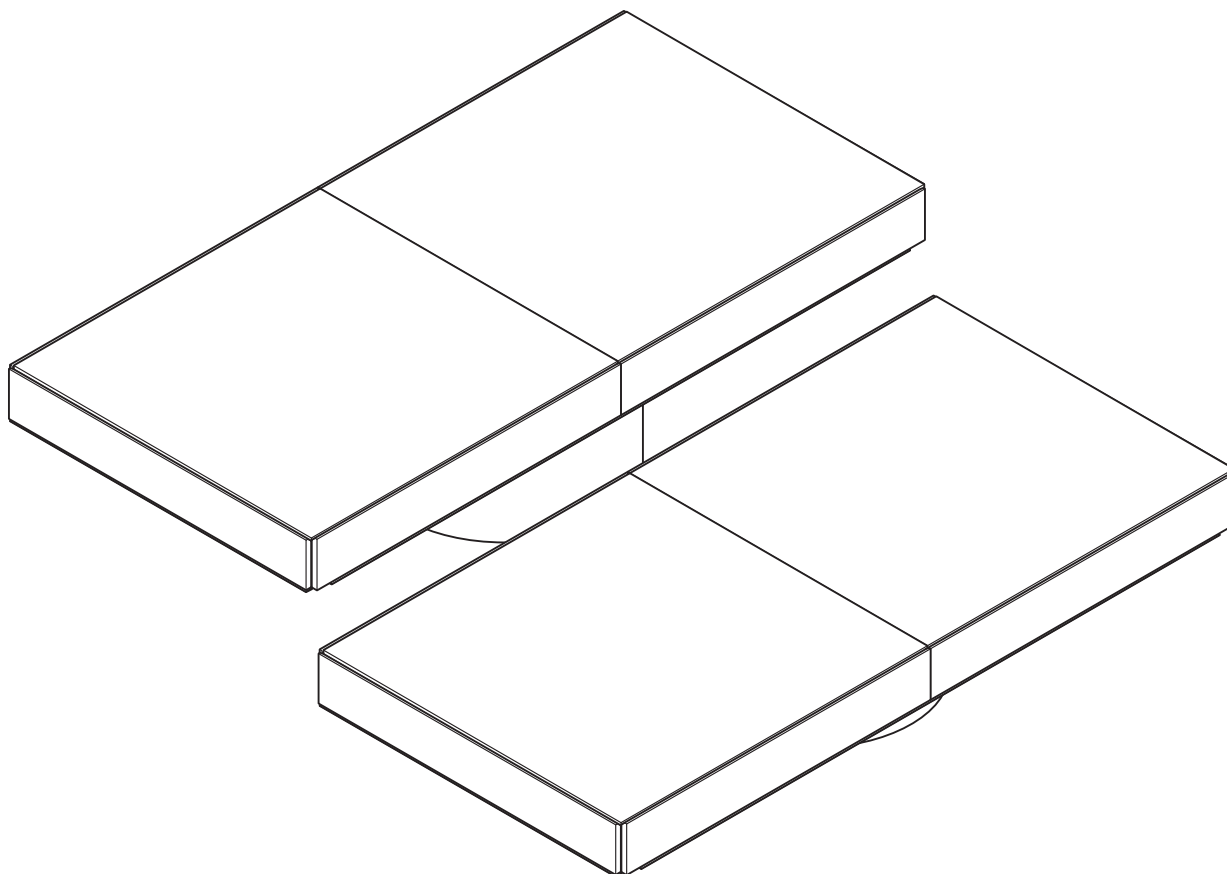
お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと取付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：1a、1b、2a等)

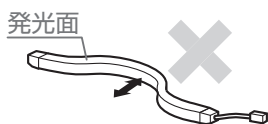
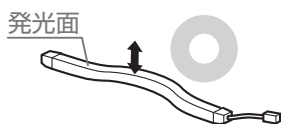
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。



施工の前に

施工上のお願い

- 灯具の取扱いに十分ご注意ください。
- 鋭角に曲げないでください。
※最小曲げ半径は300mmです。
- 踏みつけたり、発光面を強く押さないでください。
- 両面から追い込みをしないでください。（レールへの取付時）
- ねじったり、強く引っ張らないでください。
- 曲げる方向に注意してください。



施工上のお願い

- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
- 立てかけて保管しないようにしてください。
- 製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
- タイルは接着固定となるため、タイルが濡れていると接着ができません。施工前のタイル保管時は、タイルが濡れないよう養生等をお願いします。
- 設置場所を確認してください。
- 浴室、プール等の常時水のかかる場所には設置しないでください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱排気による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 母屋の屋根等から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- 浮遊ステップ用タイルは輸入元メーカーの梱包での納品となります。製品使用上影響のない範囲で梱包材表面にキズ等（破れ、ホットメルト接着のはがれ跡、黄ばみ）があります。また、タイル裏面の一部は露出してしているため、配送段階での汚れ等がつく場合がありますが、ご了承ください。
- 製法上、タイルごとに色のばらつきや最大で3mm程度の公差が発生する場合があります。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 施工の前に、使用する取付説明書を確認してください。
- 取付ける部材によって施工手順が変わる場合があります。施工内容を十分確認してください。
- 施工に関する説明動画を右の二次元コードより確認してください。

施工説明動画



cpd_ex_ap02458

施工上のご注意

▲ 注意

- ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。
・φ8ボルト:12.5N・m±0.5N・m(125±5kgf・cm)
 - 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
 - コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
 - タイルの角部に重量物が勢いよくあたると、割れたり欠けたりし、製品使用時に脱落、ケガをするおそれがありますので持ち運びの際はご注意ください。
 - タイルの切断作業の際、長時間多量の粉塵を吸収すると健康を損なうおそれがあります。集塵装置付カッター並びに局所排気装置、防塵マスクの着用、うがい手洗いの励行、切断片の安全な処分などに留意してください。
 - タイルを基礎部材に接着固定する際は、部材表面にゴミ、ホコリ、水濡れ等がないか確認し、接着剤を塗布してください。
 - 弊社浮遊ステップ用タイル以外の使用は、重大事故につながるおそれがありますのでおやめください。
 - 当社指定のクリア色のシーリング材または接着剤をご使用ください。
- | メーカー | 品番または品名 |
|-----------|---------------|
| 信越化学工業(株) | KE-45-T (クリア) |
| セメダイン(株) | スーパーX (クリア) |
- 硬化時間などの詳細については接着剤またはシーリング材の硬化時間を確認してください。
 - 完全硬化前に触らないでください。完全硬化前に施工してしまうと止水性が確保できず、故障、感電のおそれがあります。
 - 必ずシールを所定の場所に貼付けてください。切創のおそれがあります。
 - 蹴上げ部が高いと、足が引っかかり転倒に繋がるおそれがあります。
 - 切詰め用キャップには向きがあります。角Rが発光面の上面に合うようにしてください。正しく施工しないと止水性の低下につながります。

施工上のお願い

- 接着剤の保管時には下記の点に注意してください。
 - ・現場に保管する場合には、なるべく施工場所に近い屋内の安全な場所を選んでください。
 - ・劣化や変質を避けるため、屋内で保管してください。やむを得ず屋外におく場合は、防水シートで覆い、防水シートが飛ばないように養生してください。
 - ・日陰になる場所に保管してください。
 - ・水濡れや破損を避けるため、直接地面に置かないでください。
 - モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
 - 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
- 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
 - 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
 - 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

基礎工事について

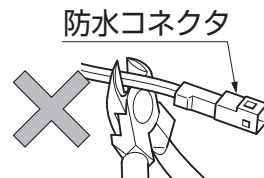
▲ 注意

- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。
- コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。
- 地耐力は50kN/m²以上で施工してください。

電気配線工事について

▲ 警告

- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電のおそれがあります。
- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。
- 防水コネクタを切断するなどの加工は行わないでください。故障・感電のおそれがあります。



▲ 注意

- 別売りの当社製トランス電源ユニット・電源ケーブルと組合わせて使用してください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	ページ	チェック内容	チェック欄
1	4	切創防止用シールは貼り付けましたか？	<input type="checkbox"/>
2	4	灯具の防水コネクタは切断していませんか？(故障や不点灯のおそれがあります)	<input type="checkbox"/>
3	10	基礎は指定サイズ以上で施工しましたか？	<input type="checkbox"/>
4	13	側面タイルはテーパ加工部まで接着剤を塗布しましたか？	<input type="checkbox"/>

施工前に準備いただくもの

※下記項目は施工前に必ずご準備ください。

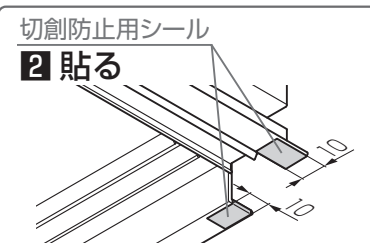
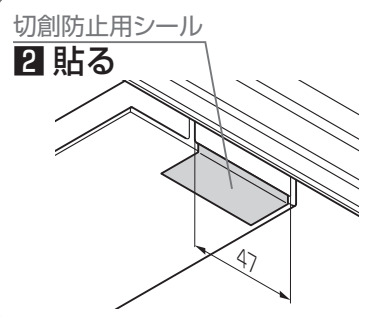
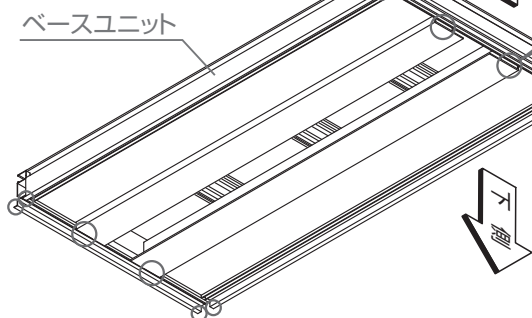
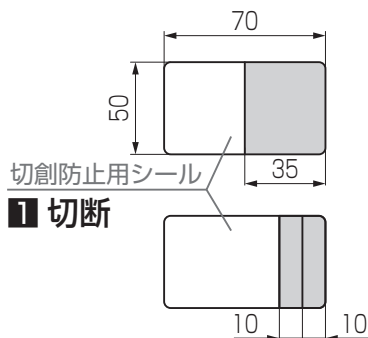
ボイド管：サイズφ400以上のもの
モルタル（セメントと砂） アルミなどの金属の腐食ぼうしのため、以下の物は使用しないでください ・塩分を含む砂（海砂） ・塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など）
碎石
コンクリート平板：600×300×t=60以上のもの
L字アンカーボルト
基礎石：200角以上のもの
打ち込み棒：M8グリップアンカー用

施工前の準備

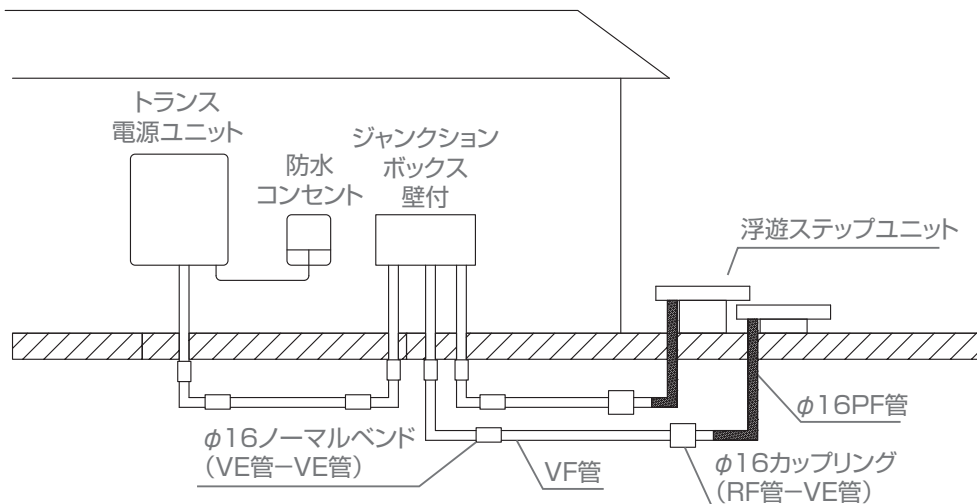
▲ 注意

- 必ずシールを所定の場所に貼付けてください。切創のおそれがあります。

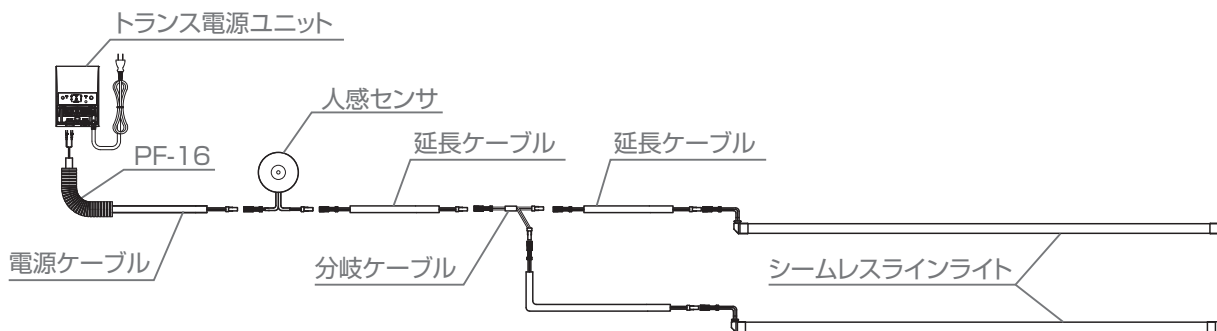
- 1: 切創防止用シールを下記のサイズに切断
- 2: 指定の箇所に貼付け(全12か所)



配線参考図



配線イメージ(人感センサあり)



人感センサを複数使用する場合

- DC12Vトランス電源ユニットからの電源ケーブルを分岐ケーブル(2分岐)で分岐させ、人感センサ2個に接続
 - 人感センサからの延長ケーブルを分岐ケーブル(人感センサ専用)で回路をまとめ、照明側へ接続
- ※人感センサを並列接続することにより、人感センサ1個が検知すれば照明が点灯します。
※分岐ケーブル(2分岐)→人感センサー分岐ケーブル(2分岐)人感センサ専用を追加することで人感センサの複数設置が可能になります。
※入切スイッチの複数設置はできません。

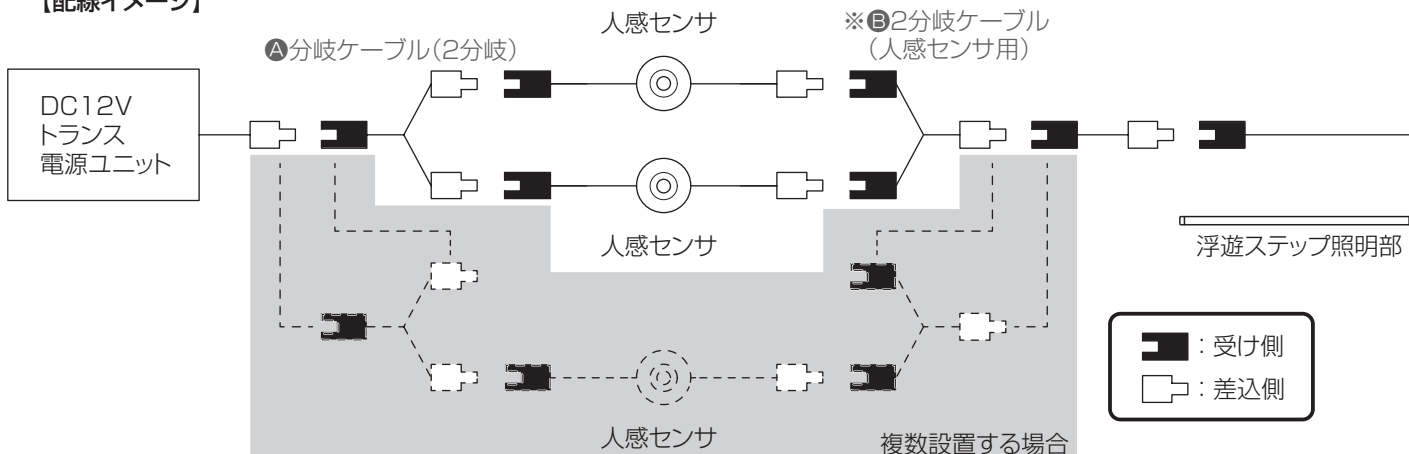
施工上のお願

●分岐ケーブルは2種類あります。必ず確認して使用してください。
※正しく接続しないと製品の誤動作につながります。

A分岐ケーブル(2分岐)

※B分岐ケーブル(人感センサ用)

【配線イメージ】



配線

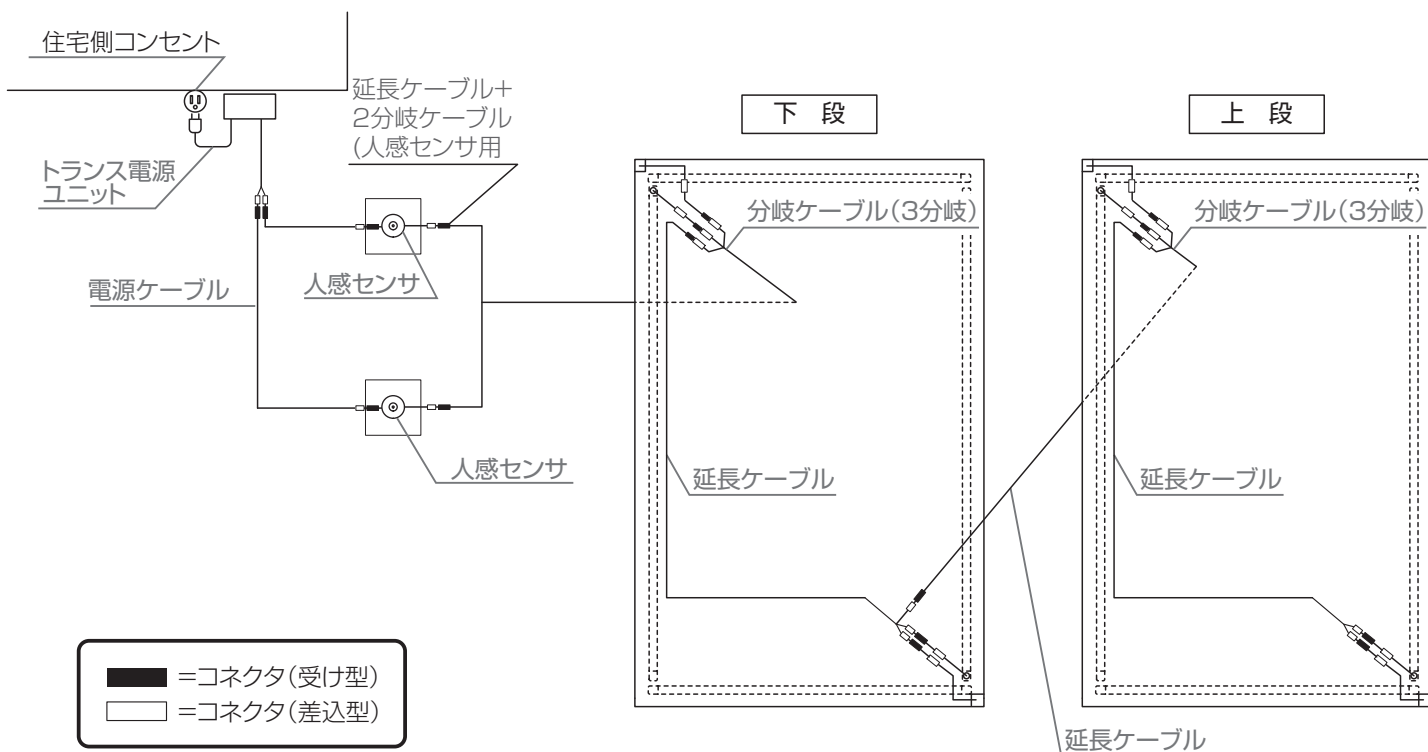
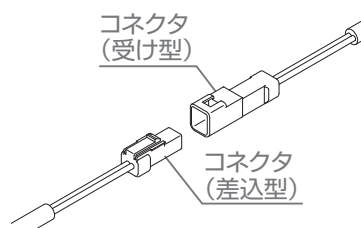
1: 電源ケーブル、延長ケーブル、分岐ケーブルの配線・接続

施工上のお願い

- 人感センサの取付けは、取付説明書「DC12V人感センサ <EXM-093>」を参照してください。

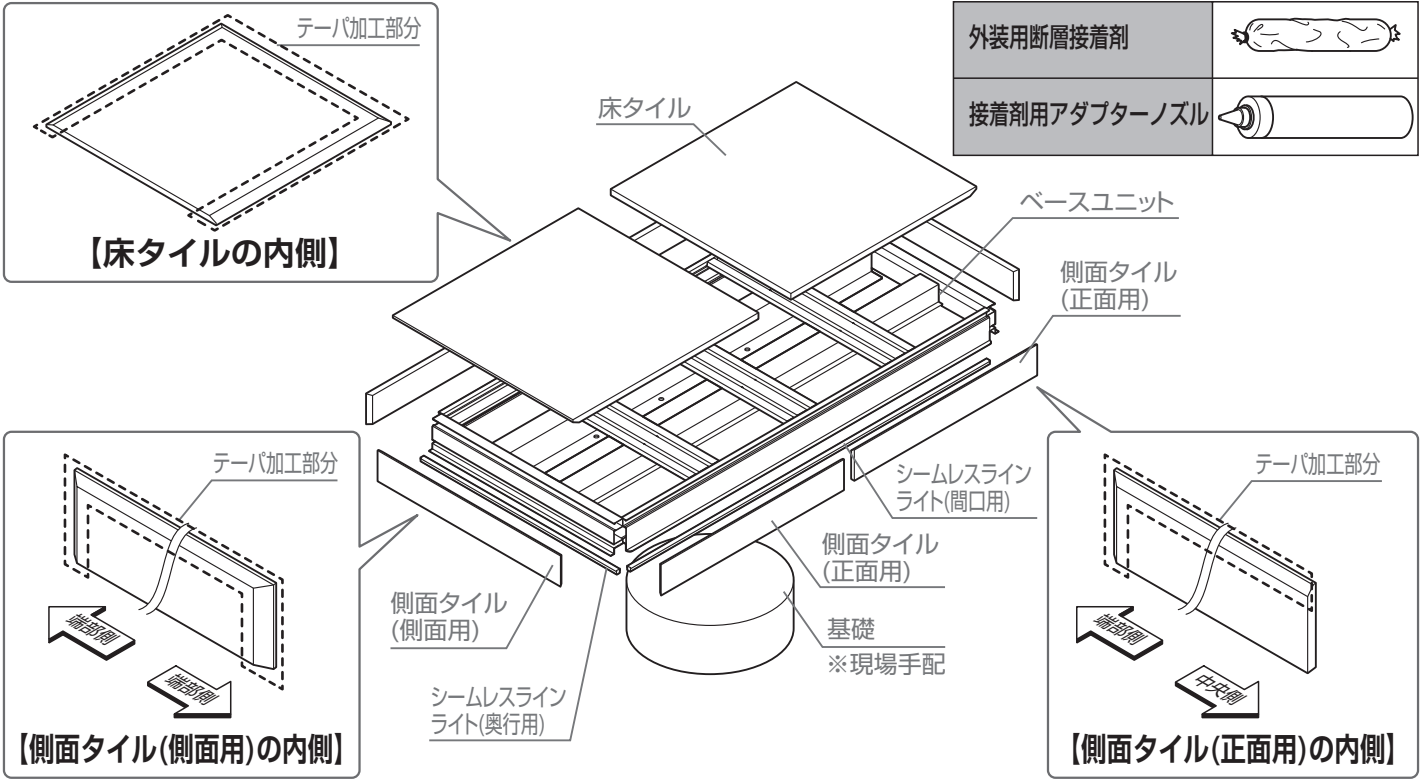
施工上のお願い

- コネクタには向きがあります。向きを間違えないよう、接続してください。

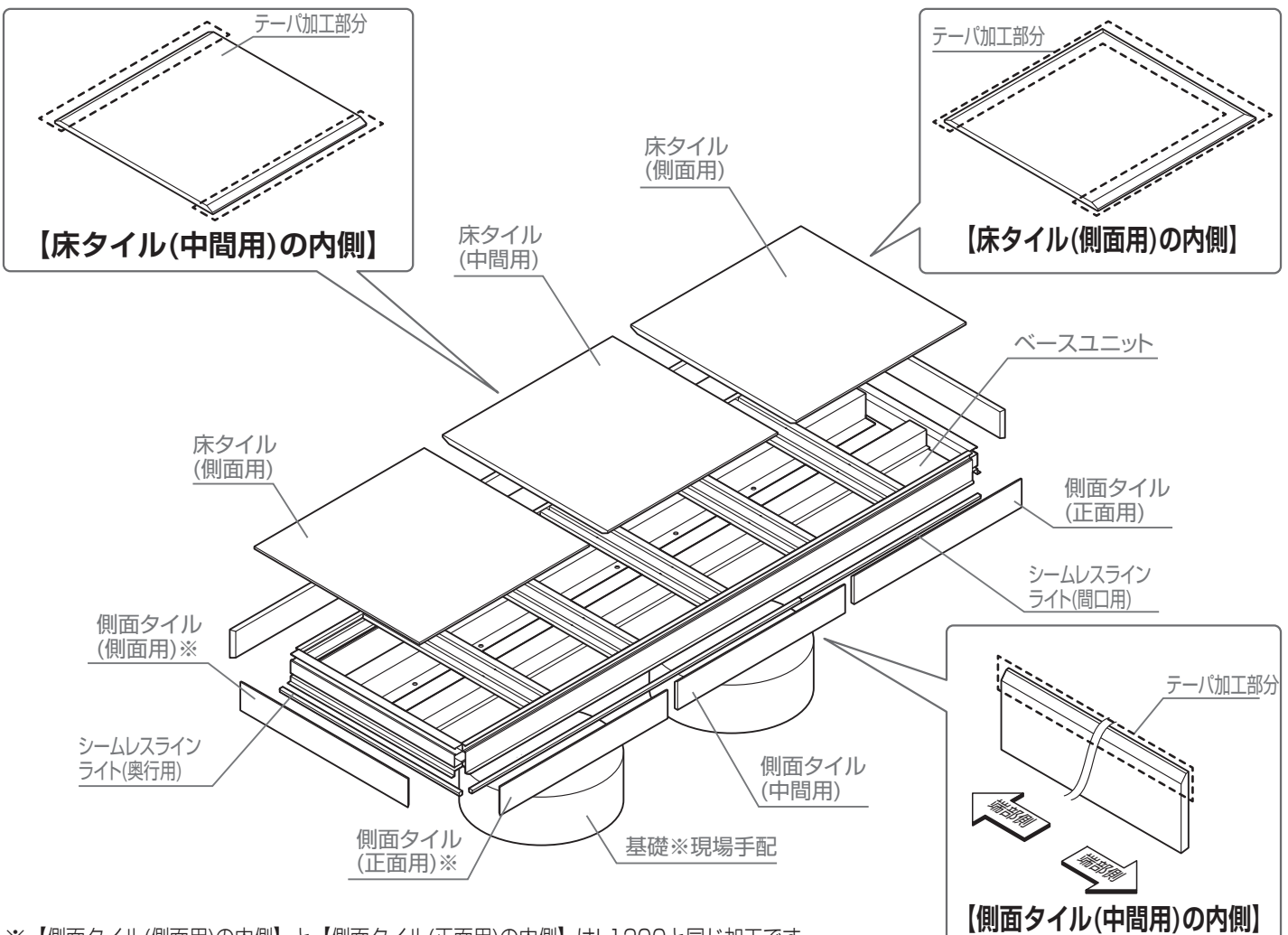


各部名称

●浮遊ステップユニット1200



●浮遊ステップユニット1800

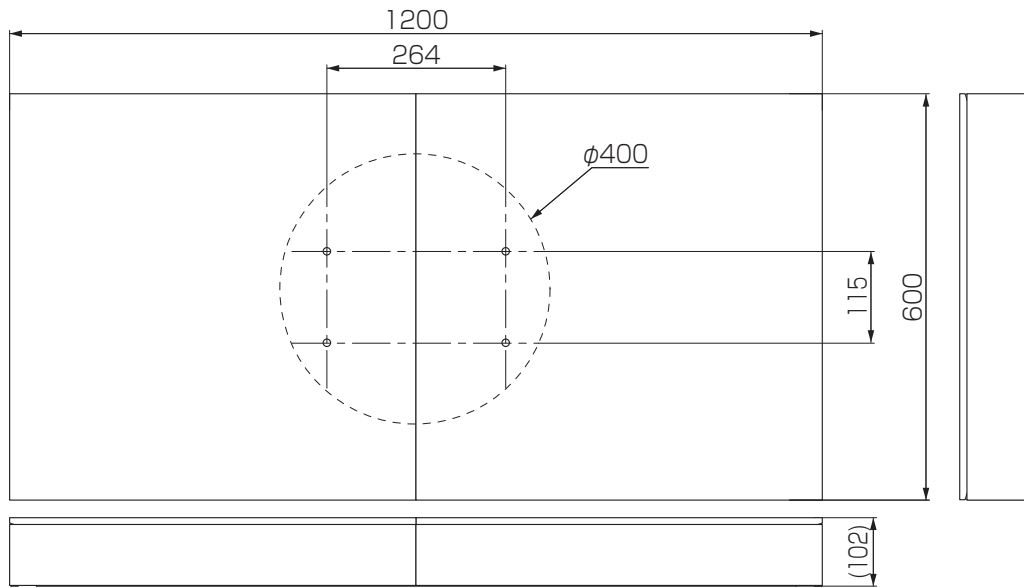


※【側面タイル(側面用)の内側】と【側面タイル(正面用)の内側】はL1200と同じ加工です。

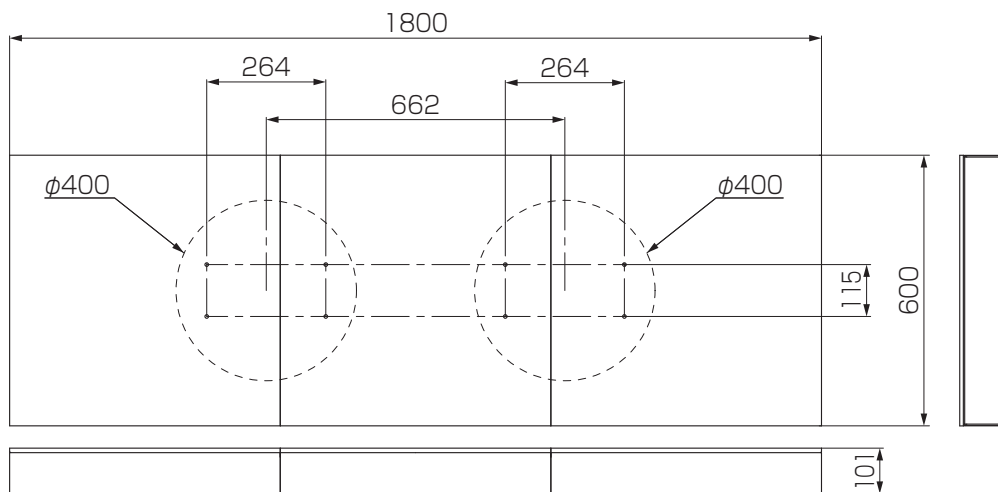
1 基本寸法

1-1 基本寸法

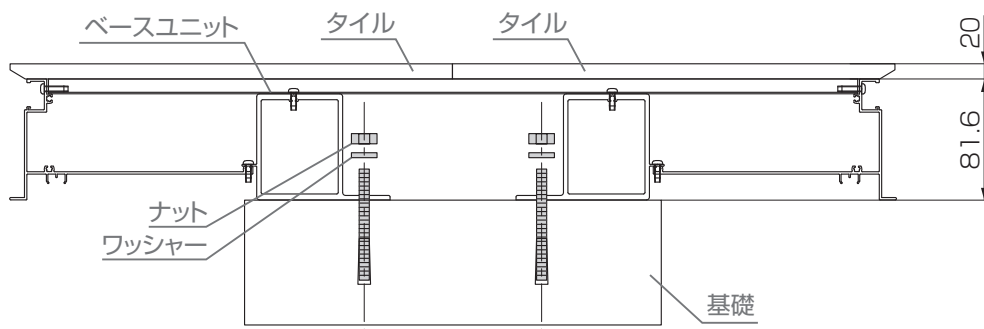
●浮遊ステップユニット1200



●浮遊ステップユニット1800



1-2 断面図

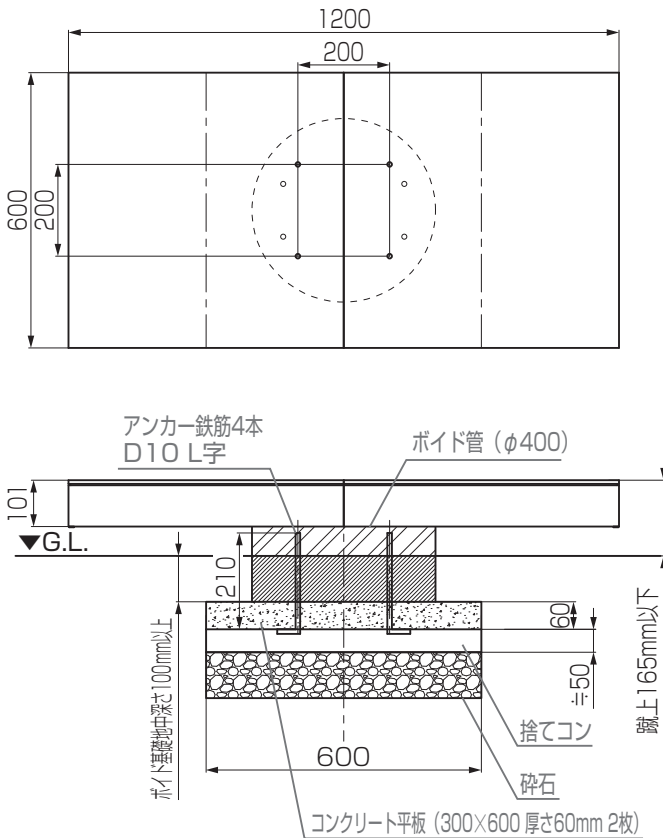


2 浮遊ステップの施工

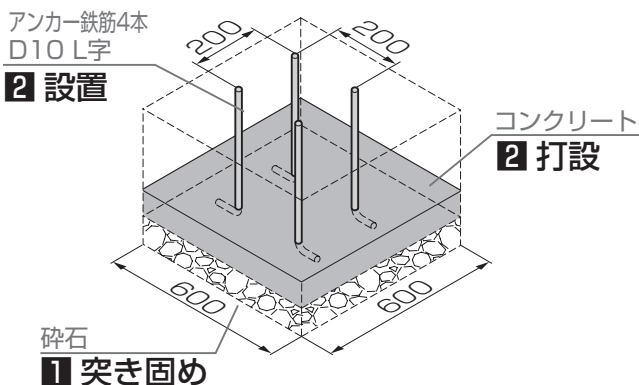
2-1 基礎の施工(L1200用)

- 基礎は下記規定以上の面積および深さがあれば、形状に指定はありません。本取付説明書では、ボイド管を使用した丸型形状の基礎を代表例として説明しています。
- 水勾配や高さ調整は基礎打設時におこなってください。
- スペーサー等を使用しての高さ調整、レベル出しは行わないでください。

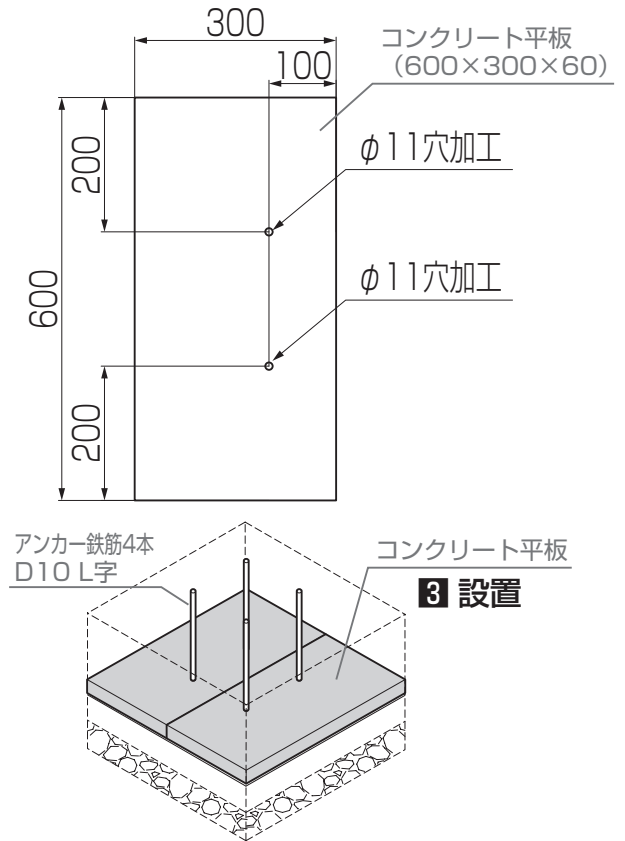
▼コンクリート平板を使用した施工例▼



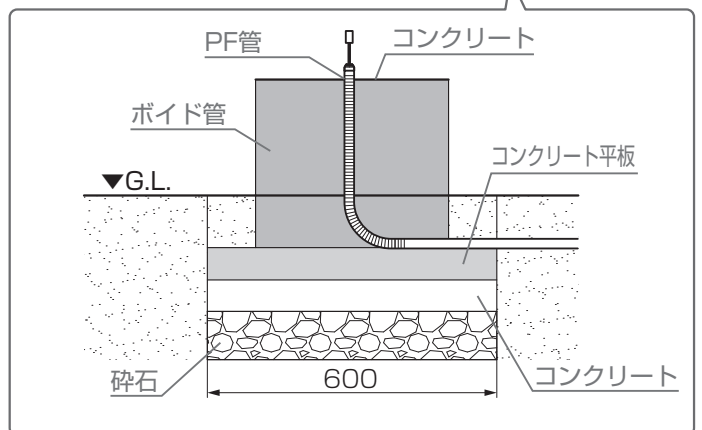
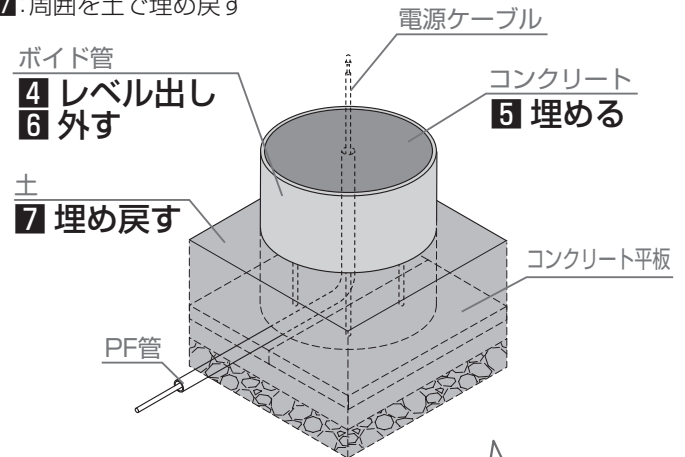
- 1: 設置位置に穴を掘り、碎石を敷いて突き固め
- 2: L字アンカーボルト(現場手配)を設置し、コンクリートを打設



- 3: コンクリート平板2枚(現場手配)に下穴をあけ、アンカーボルトを通して設置



- 4: ボイド管を設置し、水平になるようにレベル出し
- 5: ボイドの中をコンクリートで埋める
- 6: ボイド管を外す
- 7: 周囲を土で埋め戻す

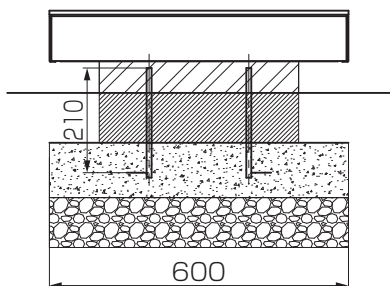
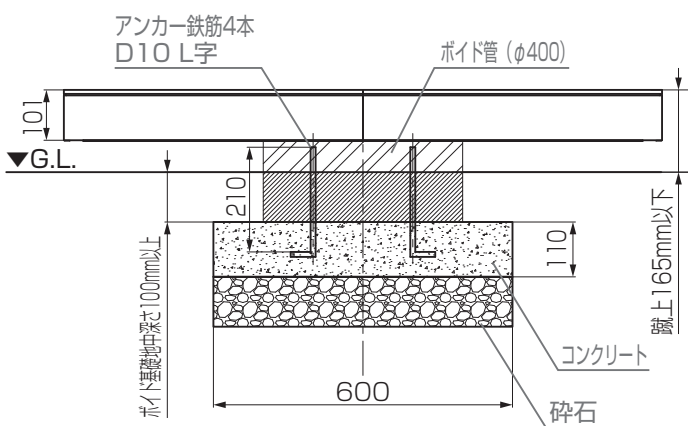
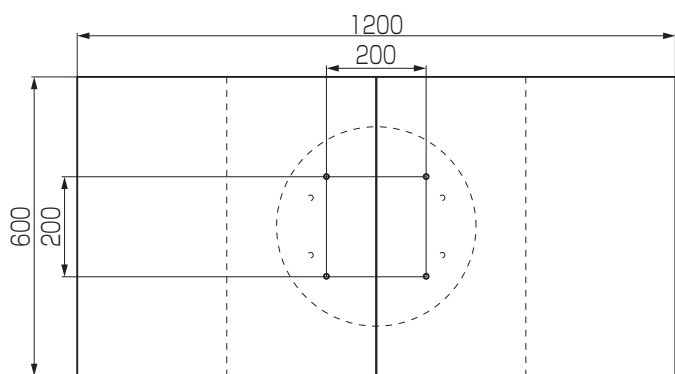


2 浮遊ステップの施工

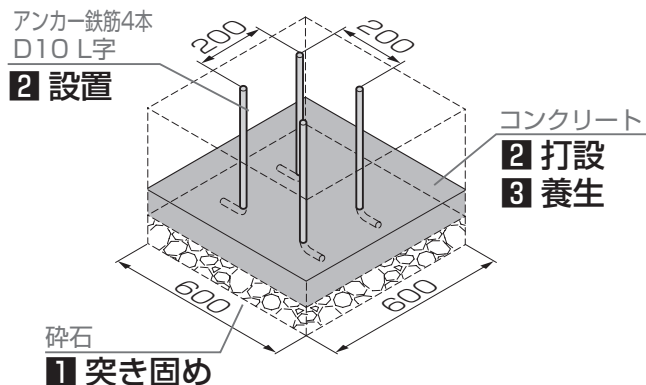
2-1 基礎の施工(L1200用)

- 基礎は下記規定以上の面積および深さがあれば、形状に指定はありません。本取付説明書では、ボイド管を使用した丸型形状の基礎を代表例として説明しています。
- 水勾配や高さ調整は基礎打設時におこなってください。
- スペーサー等を使用しての高さ調整、レベル出しは行わないでください。

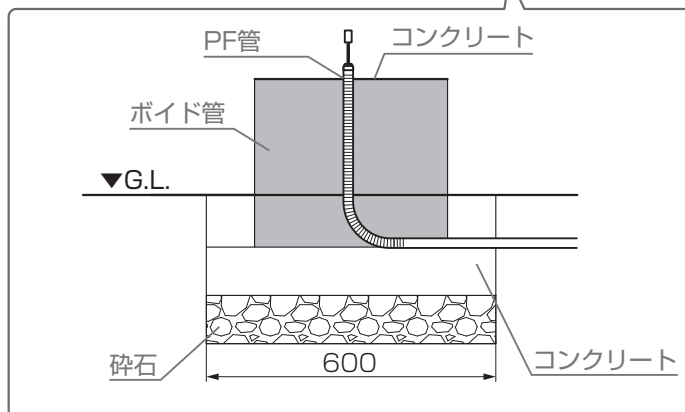
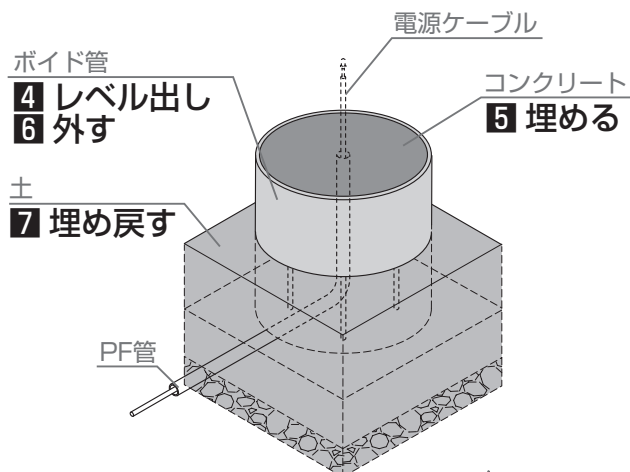
▼コンクリート基礎の施工例▼



- 1: 設置位置に穴を掘り、砕石を敷いて突き固め
- 2: L字アンカーボルト(現場手配)を設置し、コンクリートを打設
- 3: 養生(7日)



- 4: ボイド管を設置し、水平になるようにレベル出し
- 5: ボイドの中をコンクリートで埋める
- 6: ボイド管を外す
- 7: 周囲を土で埋め戻す

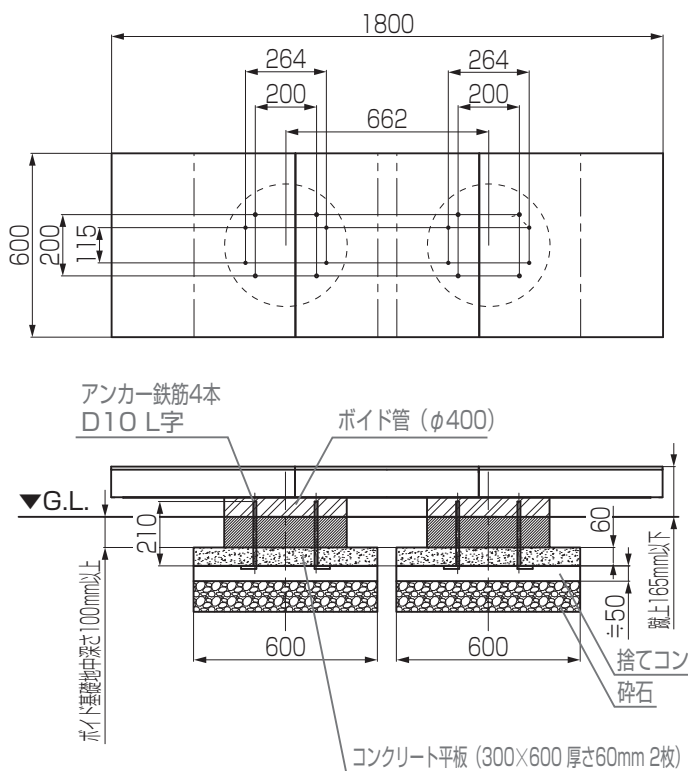


2 浮遊ステップの施工

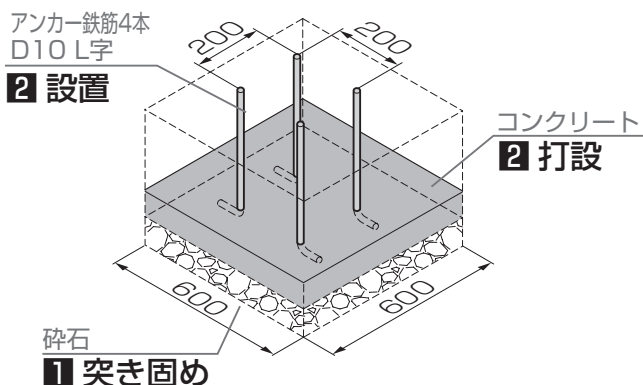
2-2 基礎の施工(L1800用)

- 基礎は下記規定以上の面積および深さがあれば、形状に指定はありません。本取付説明書では、ボイド管を使用した丸型形状の基礎を代表例として説明しています。
- 水勾配や高さ調整は基礎打設時におこなってください。
- スペーサー等を使用しての高さ調整、レベル出しは行わないでください。
- 各基礎同士の最大高低差は5mm以下にしてください。

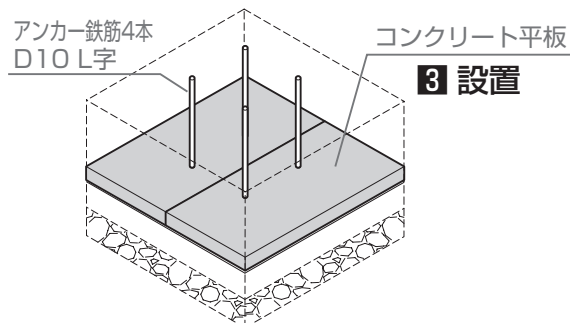
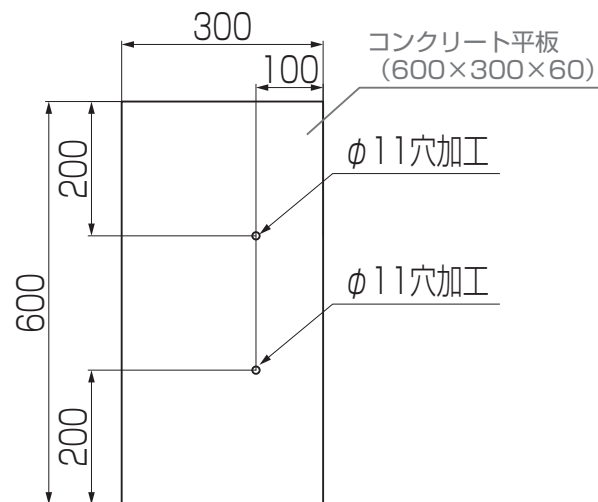
▼コンクリート平板を使用した施工例▼



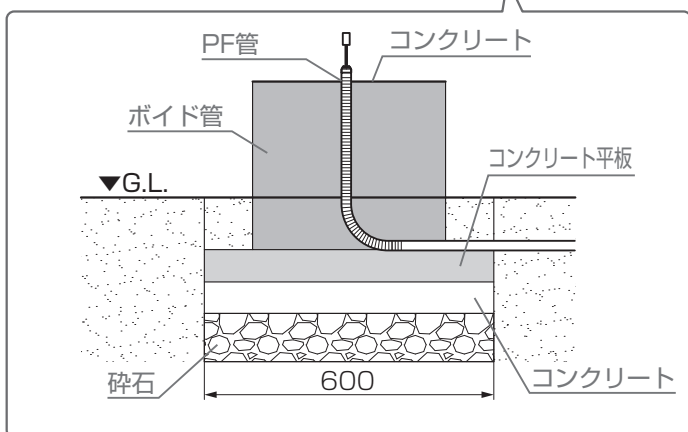
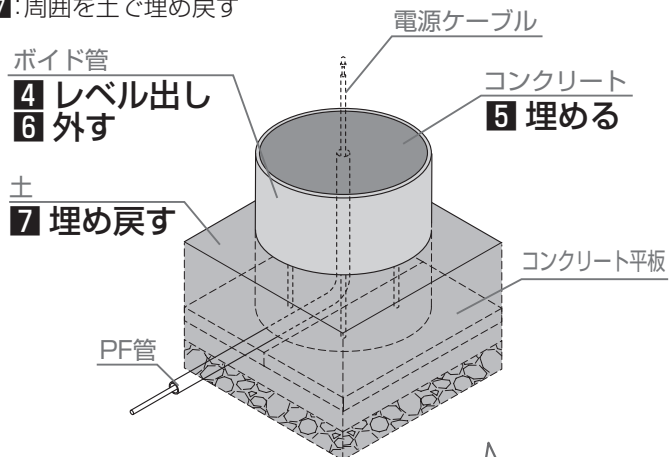
- 1: 設置位置に穴を掘り、砕石を敷いて突き固め
- 2: L字アンカーボルト(現場手配)を設置し、コンクリートを打設



- 3: コンクリート平板2枚(現場手配)に下穴をあけ、アンカーボルトを通して設置



- 4: ボイド管を設置し、水平になるようにレベル出し
- 5: ボイドの中をコンクリートで埋める
- 6: ボイド管を外す
- 7: 周囲を土で埋め戻す

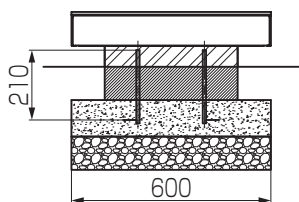
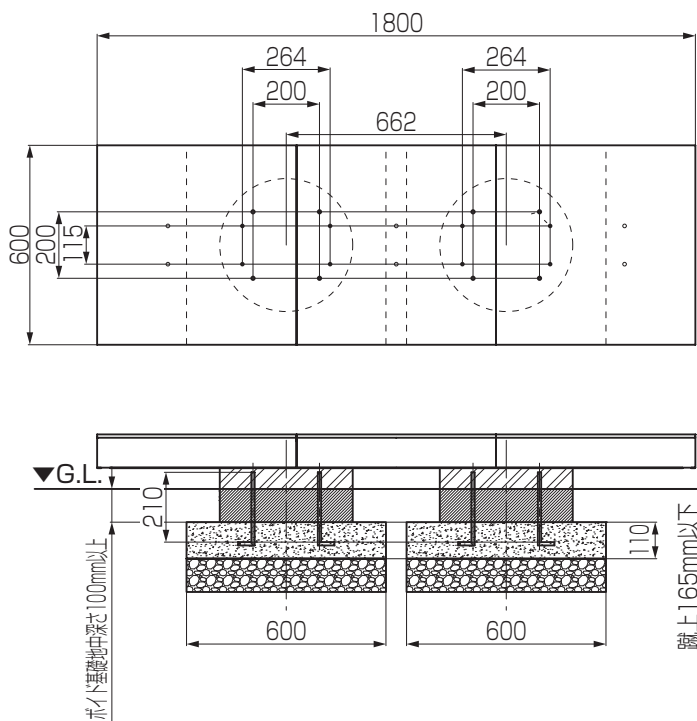


2 浮遊ステップの施工

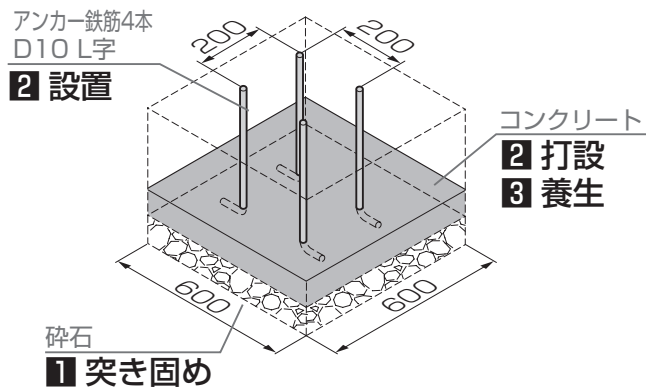
2-2 基礎の施工(L1800用)

- 基礎は下記規定以上の面積および深さがあれば、形状に指定はありません。本取付説明書では、ボイド管を使用した丸型形状の基礎を代表例として説明しています。
- 水勾配や高さ調整は基礎打設時におこなってください。
- スペーサー等を使用しての高さ調整、レベル出しは行わないでください。
- 各基礎同士の最大高低差は5mm以下にしてください。

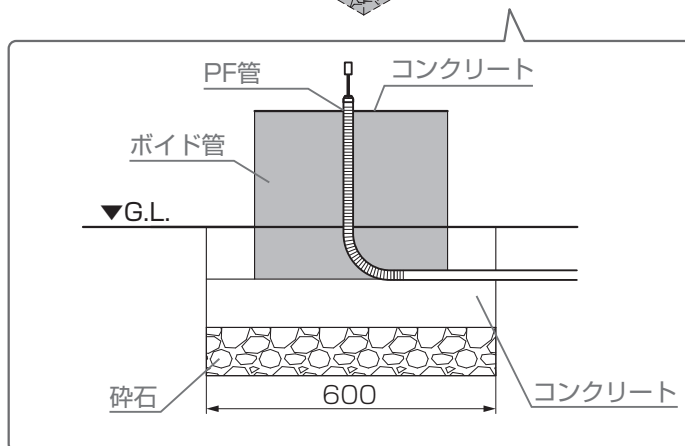
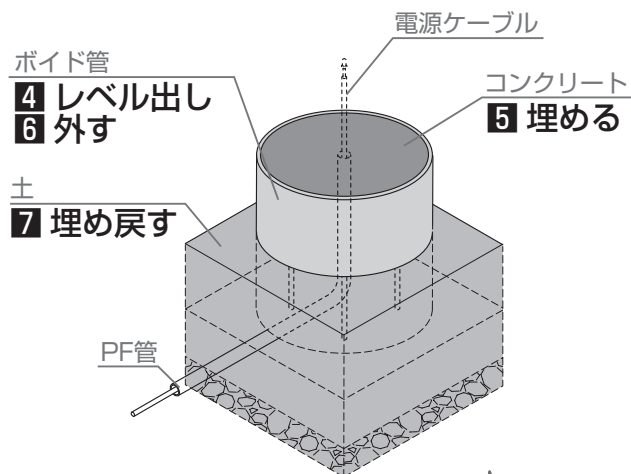
▼コンクリート基礎の施工例▼



- 1: 設置位置に穴を掘り、碎石を敷いて突き固め
- 2: L字アンカーボルト(現場手配)を設置し、コンクリートを打設
- 3: 養生(7日)



- 4: ボイド管を設置し、水平になるようにレベル出し
- 5: ボイドの中をコンクリートで埋める
- 6: ボイド管を外す
- 7: 周囲を土で埋め戻す

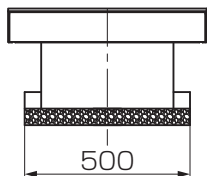
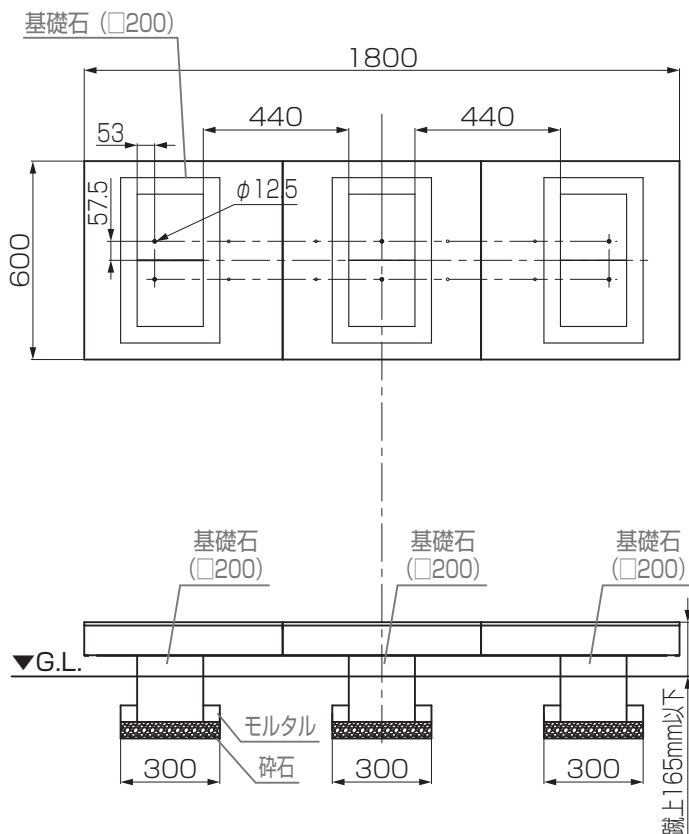


2 浮遊ステップの施工

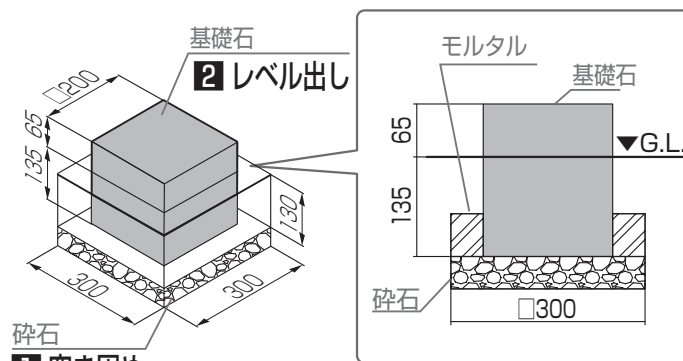
2-2 基礎の施工(L1800用)

- 水勾配や高さ調整は基礎石の位置で調整してください。
- スペーサー等を使用しての高さ調整、レベル出しは行わないでください。
- 各基礎石同士の最大高低差は5mm以下にしてください。

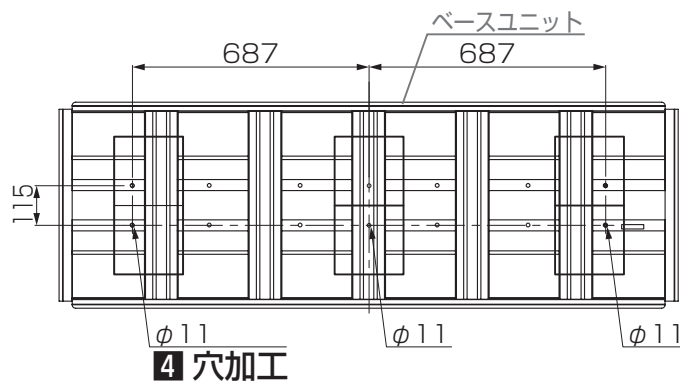
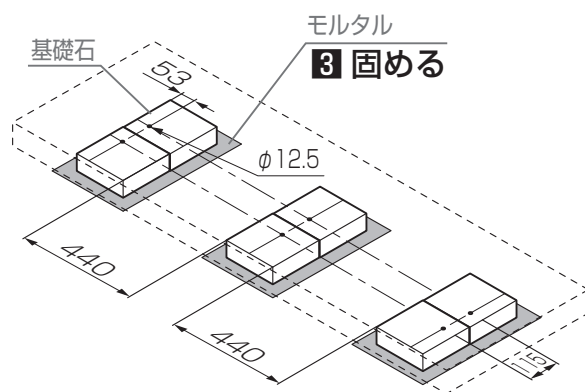
▼基礎石を使用した施工例▼



- 1: 設置位置に穴を掘り、碎石を敷いて突き固め
- 2: 基礎石(現場手配)を設置し、水平になるようにレベル出し
- 3: 基礎石のまわりをモルタルで固める
- 4: ベースユニットにφ11の穴加工



1 突き固め

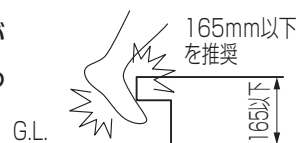


施工上のお願

- 突き固め作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。
- コンクリートで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

▲ 注意

- 蹴上げ部が高いと、足が引っかかり転倒に繋がるおそれがあります。

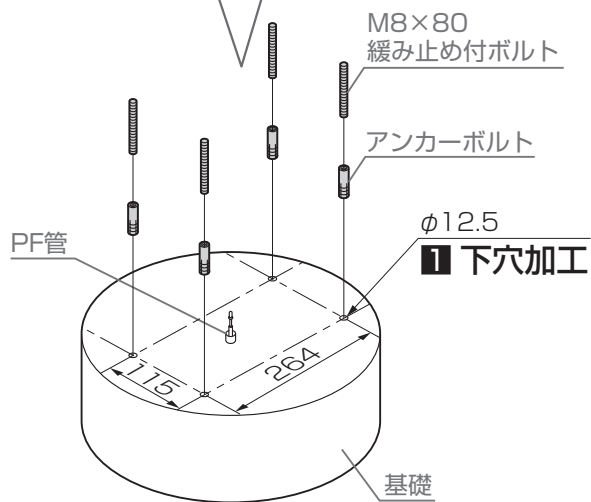
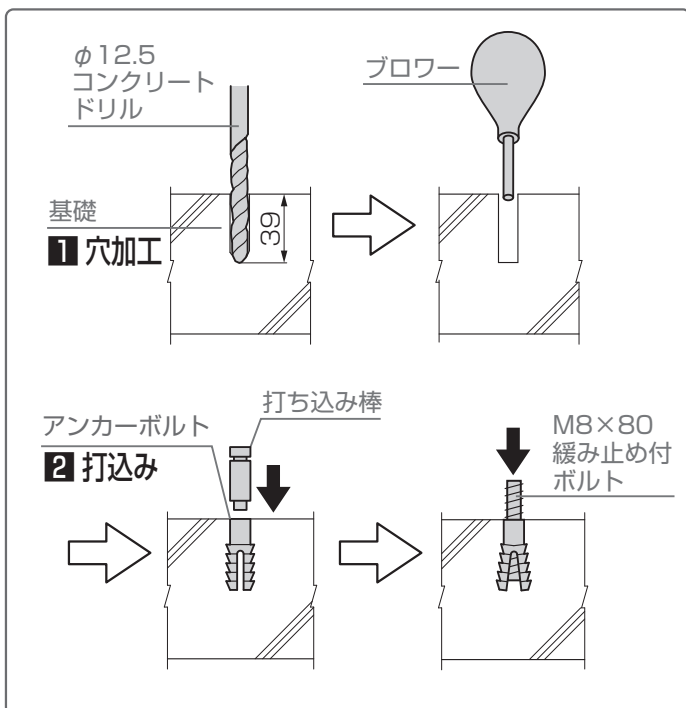


2 浮遊ステップの施工

2-3 ベースユニットの取付け

2-3-1 基礎の加工

- 1: 基礎にφ12.5、穿孔深さ39mmの下穴加工
- 2: アンカーボルトをたたいて打込み
- 3: 2のメネジアンカーにM8×80緩み止め付ボルトを取付け



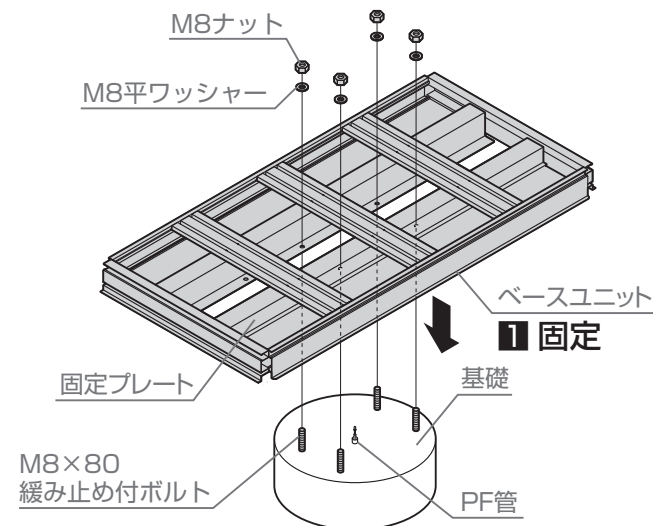
補足

- イラストはボイド管を使用した基礎を代表例として説明しています。基礎石を使用した場合はP11の所定の位置にアンカーボルトを取付けてください。

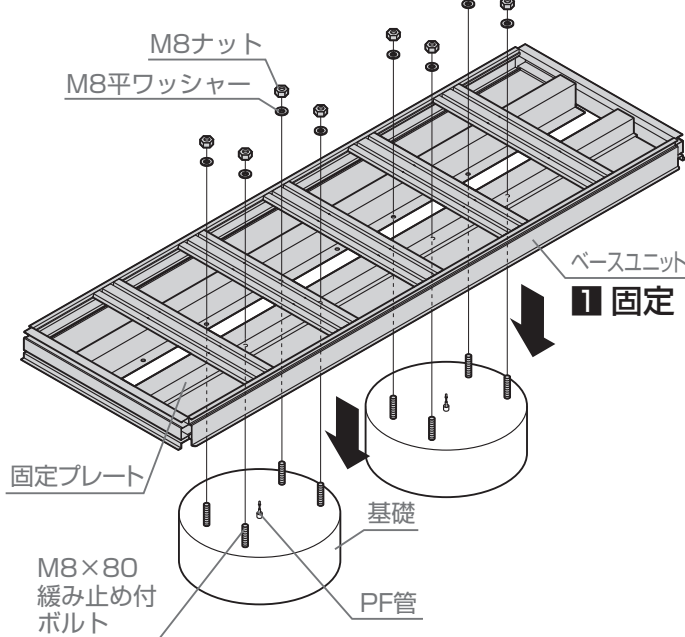
2-3-2 ベースユニットの取付け

- 1: ベースユニットを基礎にM8×80緩み止め付ボルトとM8ナット、M8平ワッシャーで固定

●L1200用

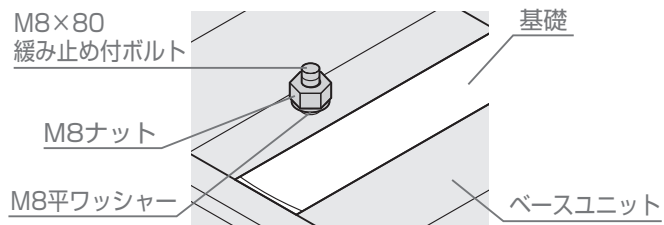


●L1800用



施工上のお願い

- ベースユニット固定部にガタツキやゆるみがないことを確認してください。
- ベースユニットと基礎は浮きがないようしっかりと固定してください



2 浮遊ステップの施工

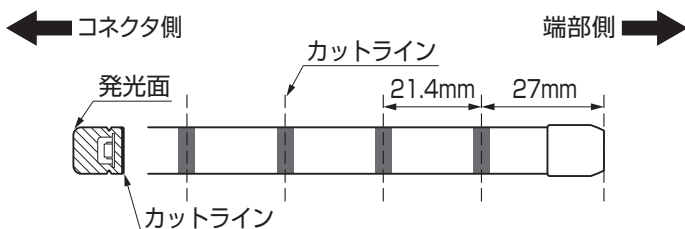
2-4 シームレスラインライトの加工

2-4-1 灯具の切詰め(切詰めを行う場合)

- 1: 灯具の切断したい長さを確認
- 2: 切断したい長さの発光面裏側のカットライン(黒いライン)を確認し、切断位置を決定

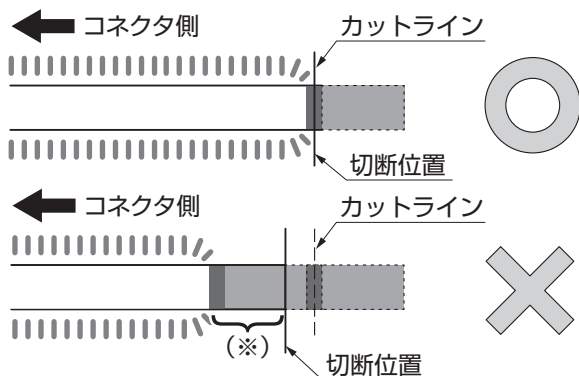
施工上のお願い

- 灯具は21.4mm単位でカットが可能です。
- 切断位置は切断したい長さの最もコネクタ側に近いカットラインをカットしてください。



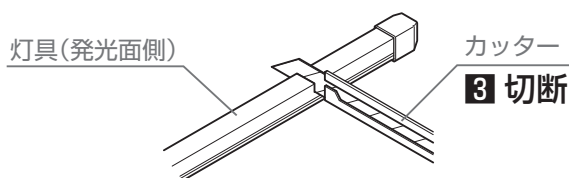
施工上のお願い

- 施工作業中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。
- カットライン上で切断し、切詰めを行ってください。カットラインからズレて切断してしまうと、不点灯部が広くなってしまい意匠性の低下につながります。



カットラインよりコネクタ側を切断すると不点灯部(*)が広がりますが、性能上問題ありません。

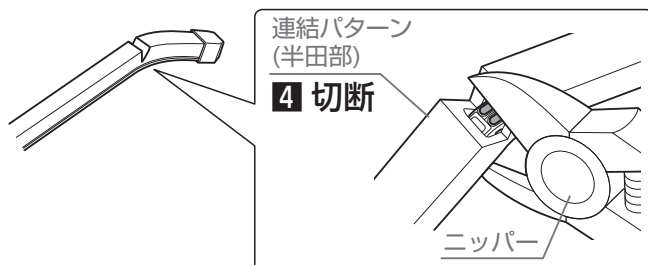
- 3: 切断位置を確認し、ラインに合わせてカッターで発光面からLED基板に当たる深さまでまっすぐ切断



施工上のお願い

- 切断した端部側の部材は使用できません。

- 4: 連結パターン(半田部)をニッパーで切断



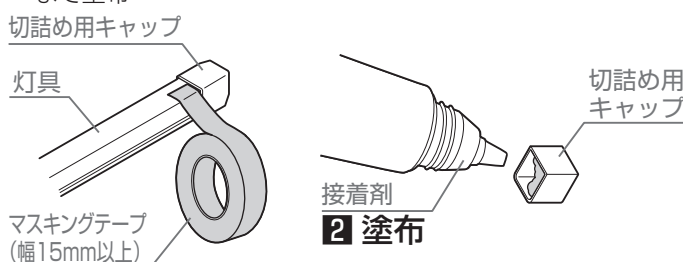
2-4-2 切詰め用キャップの取付け

⚠ 注意

- キャップには向きがあります。角Rが発光面の上面に合うようにしてください。以下の向きで正しく施工しないと止水性の低下につながります。



- 1: キャップを仮組し、キャップの際にマスキングテープを灯具に巻く
- 2: 接着剤またはシーリング材を切詰め用キャップの深さの約5割まで塗布

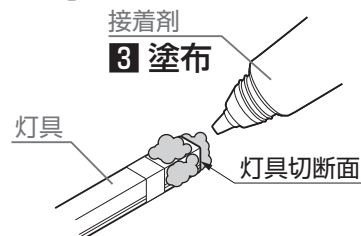


- 1 巻く

施工上のお願い

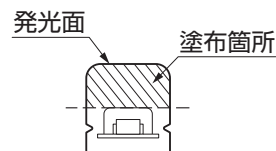
- キャップ角に塗布しながらキャップ内の隙間を埋めてください。

- 3: 接着剤またはシーリング材を、キャップの「取付部の灯具側面」と「灯具切断面」に塗布



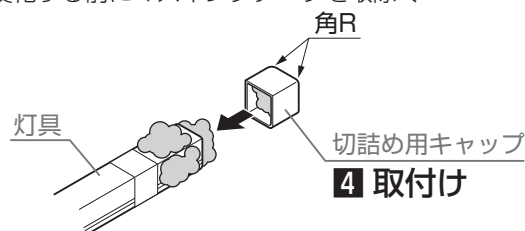
施工上のお願い

- 以下の灯具切断面に塗布してください。LED基板空間内に入ると光が白色化しますが性能上問題ありません。



- 4: キャップの取付向きを注意しながら切詰め用キャップを切断箇所に取り付け

- 5: はみ出した接着剤やシーリング材はへらなどで取除く
- 6: 完全に硬化する前にマスキングテープを取除く

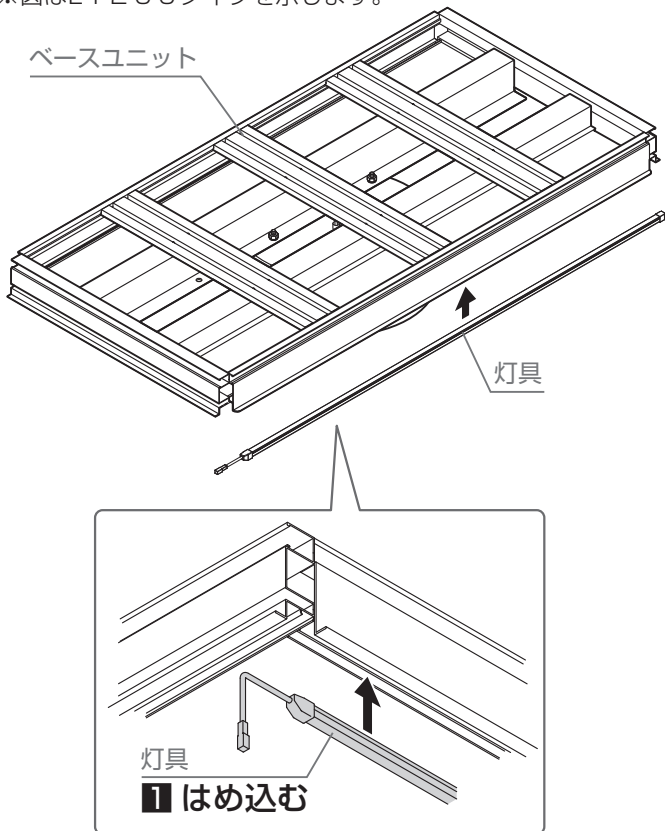


2 浮遊ステップの施工

2-5 シームレスラインライトの取付け **オプション**

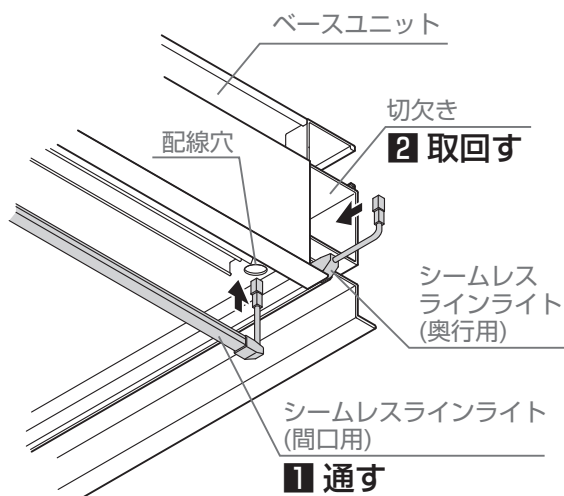
2-5-1 灯具の取付け

- 1: ベースユニットへ灯具本体をはめ込む
※図はL1200タイプを示します。



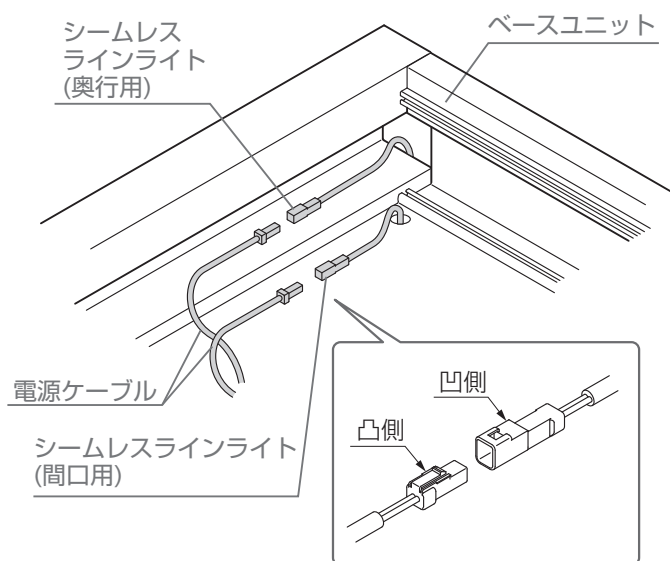
2-5-2 配線の取回し

- 1: シームレスラインライト(間口用)の配線を、配線穴に通す
2: シームレスラインライト(奥行用)の配線を、ベースユニット角の切欠き部から裏側へ取回す



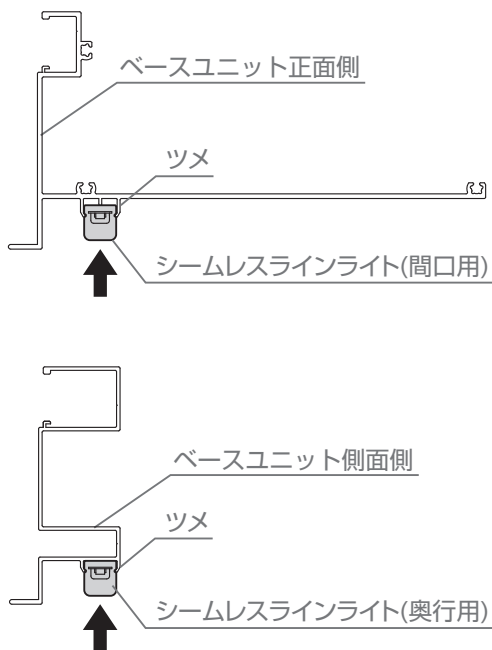
2-5-3 結線

- 1: ベースユニット下から取回したシームレスラインライトの配線と、電源ケーブルからの配線を結線



施工上のお願い

- 電源ケーブルの白黒線が配線用穴に接触する場合はケーブルにケーブルブッシュを通し、ブッシュをベース材へ取付けてください。
- 灯具本体はベースユニットのツメに嵌合するように確実に取付けてください。



施工上のお願い

- 電源ケーブルと各種配線についてはP.5～6を参照してください。

2-5-4 点灯確認

- 1: 施工後点灯確認を実施

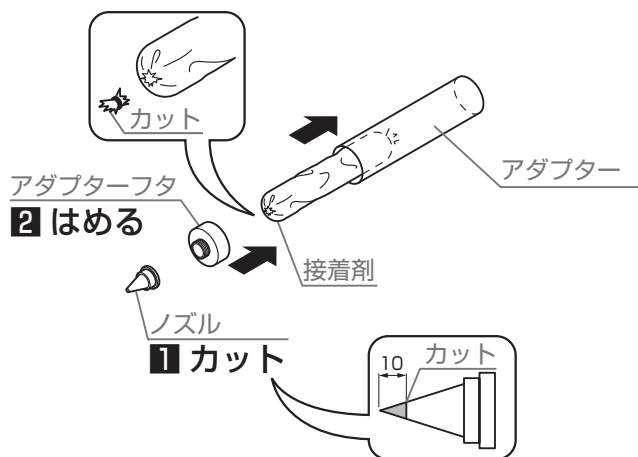
2 浮遊ステップの施工

2-6 床タイル・側面タイルの取付け

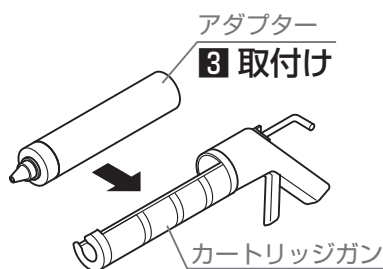
2-6-1 | 接着剤の塗布

(1) カートリッジガンの準備

- 1: ノズルの先端をカット (記載寸法は目安です。)
- 2: 接着剤の先端をカットして、アダプターに挿入し、アダプターフタとノズルをはめる



- 3: アダプターをカートリッジガンに取付け

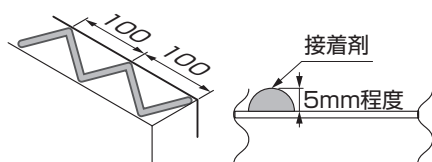


(2) 接着剤の塗布

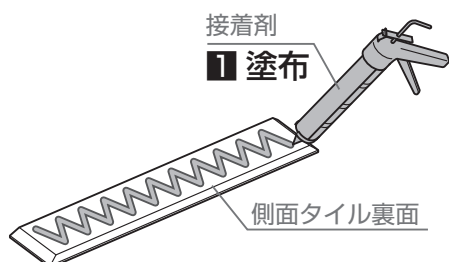
- 1: 接着剤を各側面タイル裏面に塗布

施工上のお願い

- 作業時には手袋、長袖等を着用して皮膚を保護してください。
※本接着剤は体質によっては、まれにかぶれるおそれがあります。
- ジグザグに塗布してください。



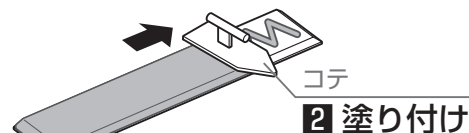
- 部材表面にゴミ、ホコリ、水濡れ等がないか確認してください。水濡れなどがある場合はふき取ってから接着剤を塗布してください。



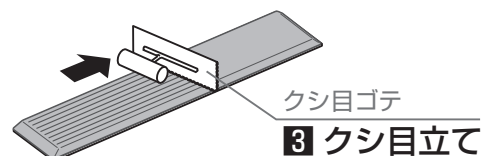
- 2: 塗布した接着剤をコテで塗り付け

施工上のお願い

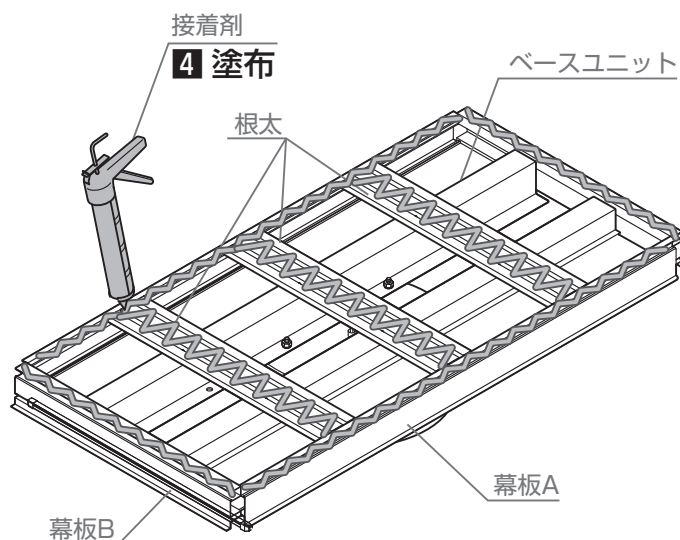
- テーパー加工部まで接着剤を塗布してください。



- 3: 接着剤をクシ目ゴテでクシ目立て



- 4: 接着剤をベースユニットに塗布
※図はL1200タイプを示します。



施工上のお願い

- 接着剤塗布からタイルを貼付け終えるまでの時間が、指定の作業時間内に納まるよう接着剤塗布の範囲を区切りながら作業を行なってください。

接着剤の初期硬化目安



- 完全硬化まで夏季1日以上、冬季3日以上十分に養生してください。
- 気温5℃以上で施工、養生してください。5℃未満では硬化が遅くなったり、硬化しない場合があります。

2 浮遊ステップの施工

2-6 床タイル・側面タイルの取付け

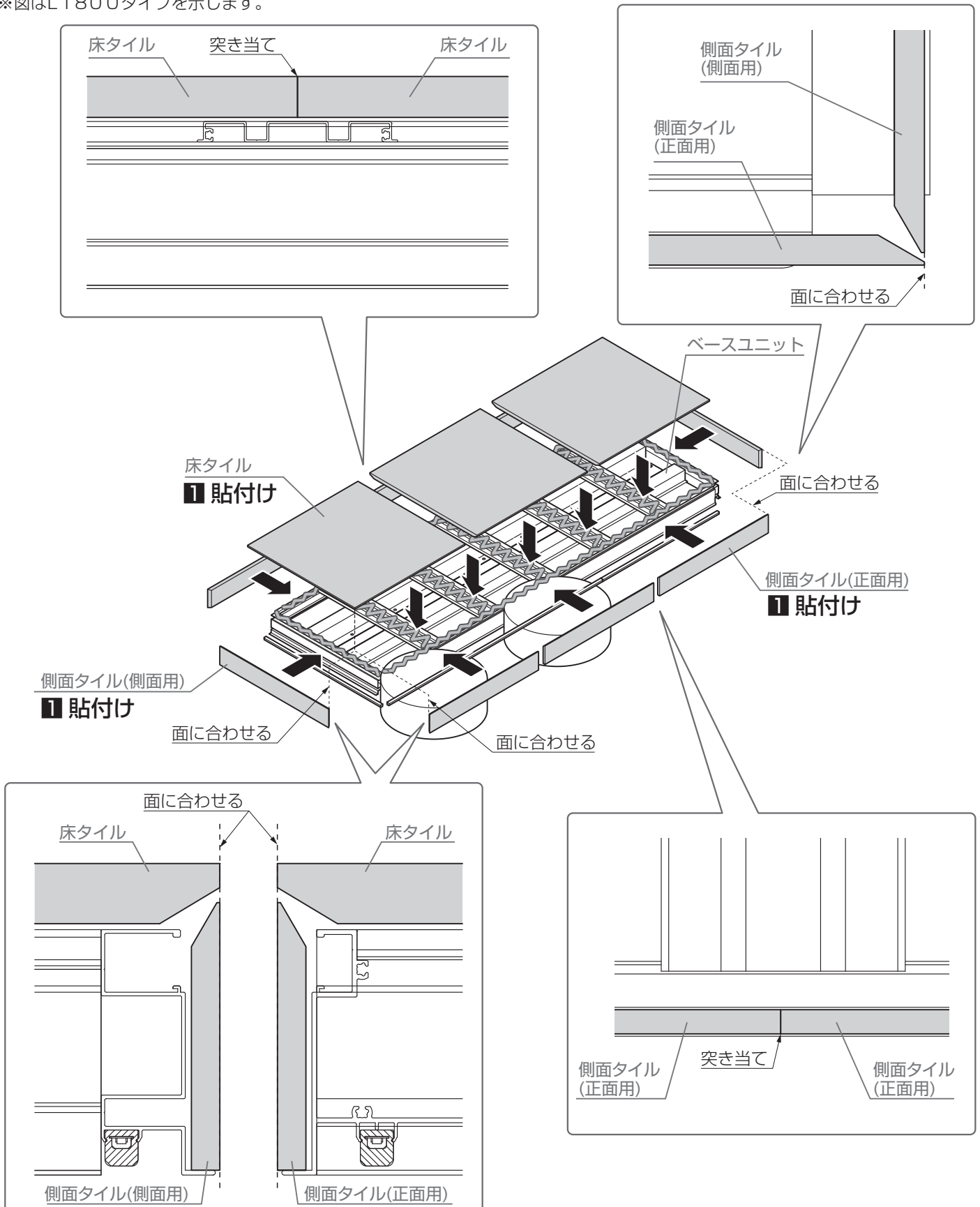
2-6-2 床タイル・側面タイルの貼付け

1: 床タイル・側面タイルをベースユニットに貼付け


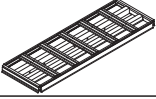
施工上のお願い





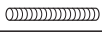
●タイルの向きに注意してください。床タイルと側面タイルが図の向きになるよう取付けてください。

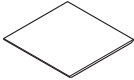
※図はL1800タイプを示します。

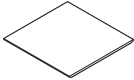



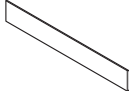
梱包明細表


【1】 ベースユニット			
名 称	略 図	員 数	
		1200	1800
ベースユニット1200		1	—
ベースユニット1800		—	1

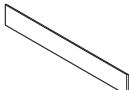
【2】 部品セット			
名 称	略 図	員 数	
		1200	1800
穴ふさぎシール		4	8
アンカーボルト		4	8
M8ナット		4	8
M8平ワッシャー		4	8
M8×80緩み止め付ボルト		4	8
取付説明書	—	1	1
取扱説明書	—	1	1

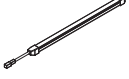
【3】 床タイル			
名 称	略 図	員 数	
		1200	1800
床タイル ※3面テーパ加工		2	2

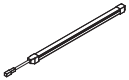
【4】 床タイル			
名 称	略 図	員 数	
		1200	1800
床タイル (中間用) ※2面テーパ加工		—	1

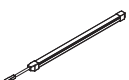

【5】 側面タイル (正面用2枚側面用2枚入り)			
名 称	略 図	員 数	
		1200	1800
側面タイル (正面用) ※2面テーパ加工		2	2
側面タイル (側面用) ※3面テーパ加工		2	2


【6】 側面タイル (中間用1枚入り)			
名 称	略 図	員 数	
		1200	1800
側面タイル (中間用) ※1面テーパ加工		—	1

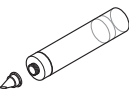
【7】 側面タイル (正面用2枚入り)			
名 称	略 図	員 数	
		1200	1800
側面タイル(正面用) ※2面テーパ加工		2	2

【8】 シームレスラインライト (奥行用)		
名 称	略 図	員 数
シームレスラインライト(奥行用)		1

【9】 シームレスラインライト (間口用)		
名 称	略 図	員 数
シームレスラインライト(間口用)		1

【10】 シームレスラインライト 1800		
名 称	略 図	員 数
シームレスラインライト		1
切詰め用キャップ		1
注意喚起チラシ	—	1

【11】 外装用弾性接着剤		
名 称	略 図	員 数
		1本入り 8KBQ01ZZ
外装用弾性接着剤		1

【12】 接着剤用アダプターノズル		
名 称	略 図	員 数
		8KBQ05ZZ
接着剤用アダプターノズルセット (760mlカートリッジ用)		1

取説コード

EXM-220

JZZ641776A
202504_1049
202602A_1049